

# 令和5年度一般会計補正予算【追加提案】

## 価格高騰緊急支援給付金 デフレ脱却を

### 1億5千万円弱追加し 総額121億6千万円弱に

1億4778万円を追加し、総額をそれぞれ121億5760万円とするもの。

概要は、国のデフレ完全脱却のための総合経済対策における重点支援交付金事業のうち、低所得者世帯枠として定められた住民税非課税世帯に、1世帯当たり7万円を支給するための事業費及び事務経費の1億4778万円を計上するもの。

これらに対応するための歳入は、国庫支出金となり、基金繰入金で収支の調整を行っている。

可決(全員)

### 主な補正

#### 1億4千万円余の緊急支援金

■電力・ガス・食料品等  
価格高騰緊急支援給付金

1億4350万円

住民税非課税世帯における1世帯当たり7万円を支給するためのもの。なお、対象世帯として2050世帯を見込んで

#### Q 濱村美香議員

今回、低所得の世帯が対象とのことだが、均等割のみの世帯も含まれているのか。

また、給付時期はいつごろを予定しているか。

#### A 青木地域住民課長

今回は、均等割は含まずに2050世帯で計上している。

支給の時期は、事務的な手続きが早く済めば前

倒しもできるかも知れないが、一応2月の下旬で予定している。

#### Q 山本牧夫議員

これを取り扱う現場の窓口の状態は、かなり残業が多いと私は認識しているが、過重労働も含めて対応できそうか。

国は、急に給付事業などを持ってくるが、最終

的に対応する市町村の窓口は大変だったと思う。対応は大丈夫か。

#### A 西村副町長

確かに、これまで多くの臨時的な交付金があり、事務処理等は大変な労力が掛かっている。

また、窓口の方もかなり残業も増えている。

しかしながら、これについては町全体でしっかりと取り組み、住民の皆さまにご迷惑の掛からないよう迅速な対応をしていく。



1階窓口でのお客様対応の一コマ  
(令和6年1月10日、本庁舎)



1階窓口でのお客様対応の一コマ  
(令和6年1月10日、佐賀支所)

### 宮地葉子議員 永年表彰受ける

宮地葉子議員が、「町村議会議員として20年の永きにわたり地方自治の振興発展に寄与せられ、その功績はまことに顕著であります」として、四国地区町村議会議長会会長より表彰された。



中島議長から表彰状を受け取る宮地葉子議員  
(令和5年12月議会)